

クエン酸第二鉄(リオナ®)投与による 臨床検査値・ESA製剤使用量の変化

五仁会 元町HDクリニック 臨床検査部¹⁾ 同 内科²⁾

安岡 真紀¹⁾、田中 和弘¹⁾、清水 康¹⁾、申曾洙²⁾

日本透析医学会 COI 開示

筆頭発表者名： 安岡 真紀

本演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業などはありません。

《目的》

リン吸着薬 リオナ[®]は、成分であるクエン酸第二鉄による貧血改善効果が多く報告されている

われわれは、リオナ[®]の使用により貧血と鉄代謝に関連する検査値がどのように変化したのか、またESA製剤の使用量について調べたので報告する

《方法》

(対象者)

リオナ[®]を6ヶ月間以上継続して服薬し、且つ鉄剤を併用使用していない維持透析患者34名(男性25名、女性9名)

(観察期間)

投与前3ヶ月から投与後6ヶ月(リオナ[®]使用量:250~3000mg/day)

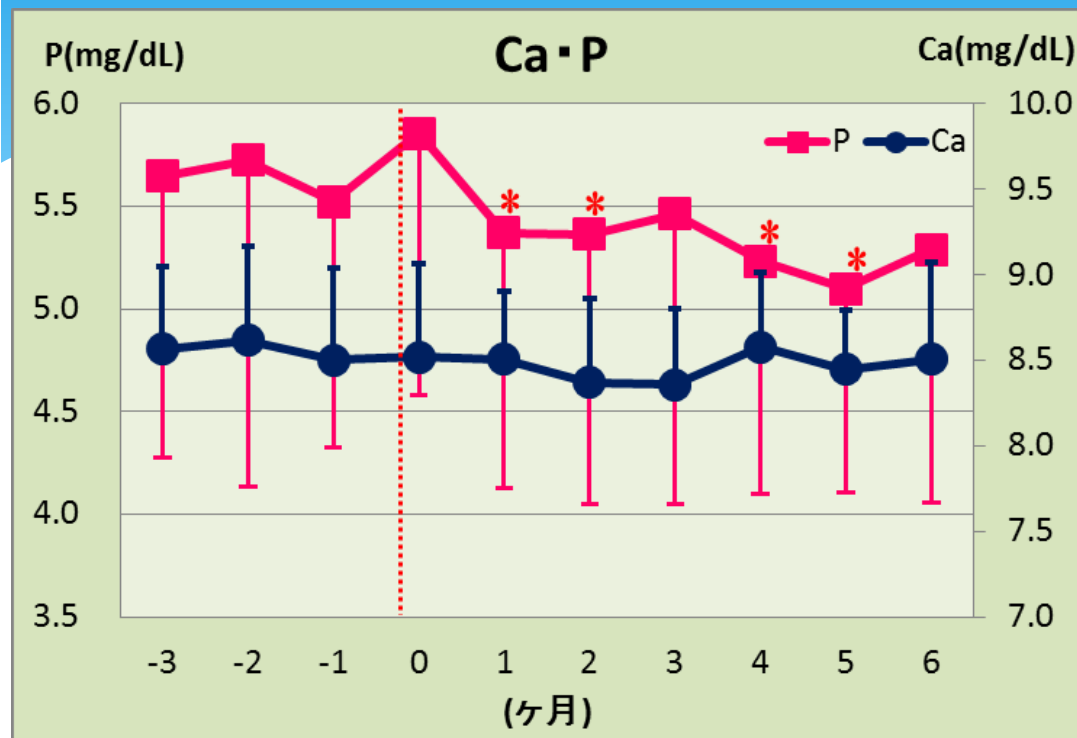
(観察検査項目)

当院で測定する月初めの検査のうち、貧血と鉄代謝に関連する項目

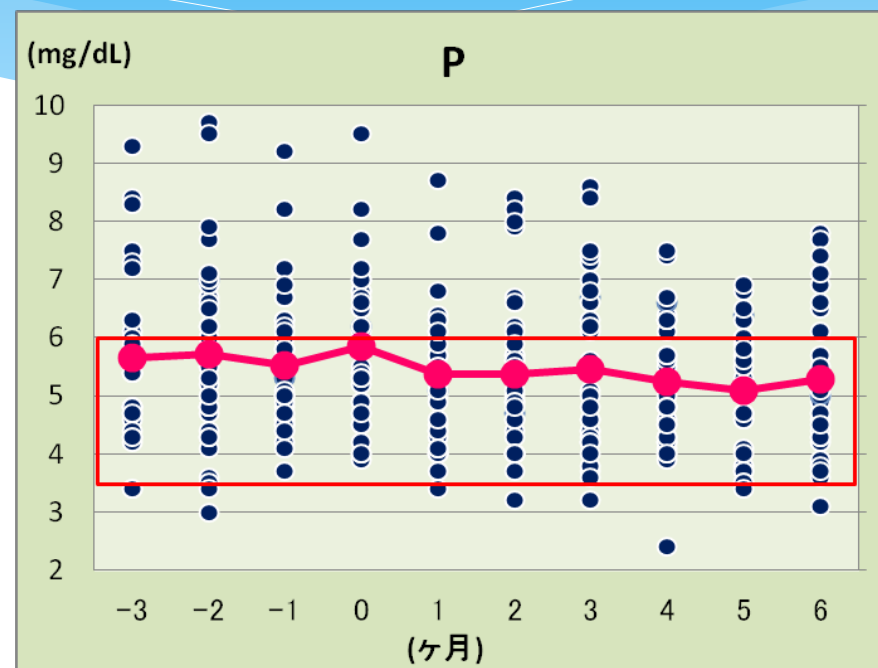
◎投与開始月(0ヶ月)を基準にpaired-t検定にて5%未満を有意差ありとした

倫理的配慮:本研究は、患者負担が生じないように、過去の定期検査にて得られたデータのみを用い、患者が特定されないよう配慮した後ろ向き研究である

《結果・考察》



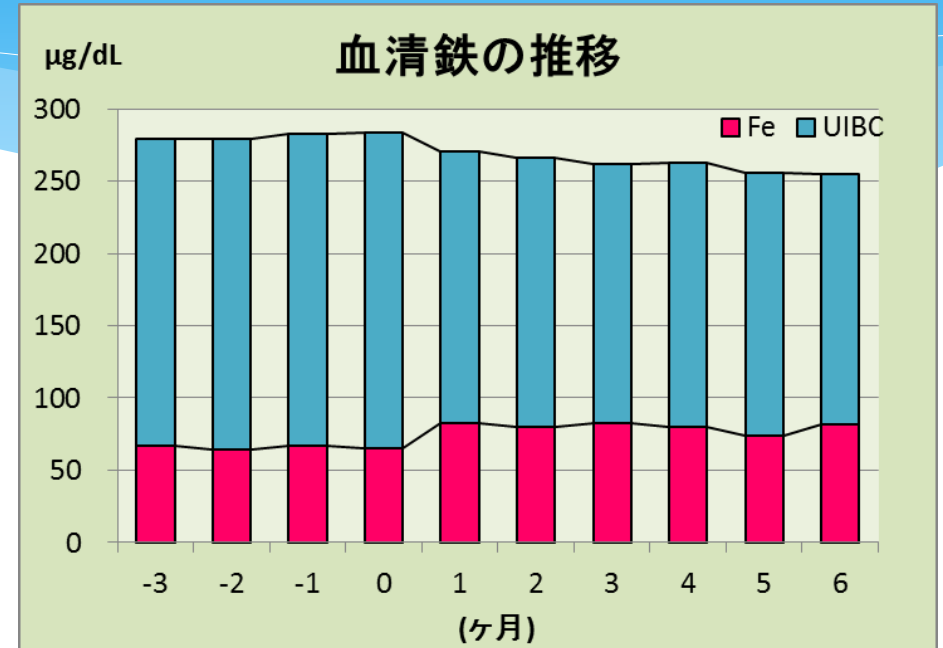
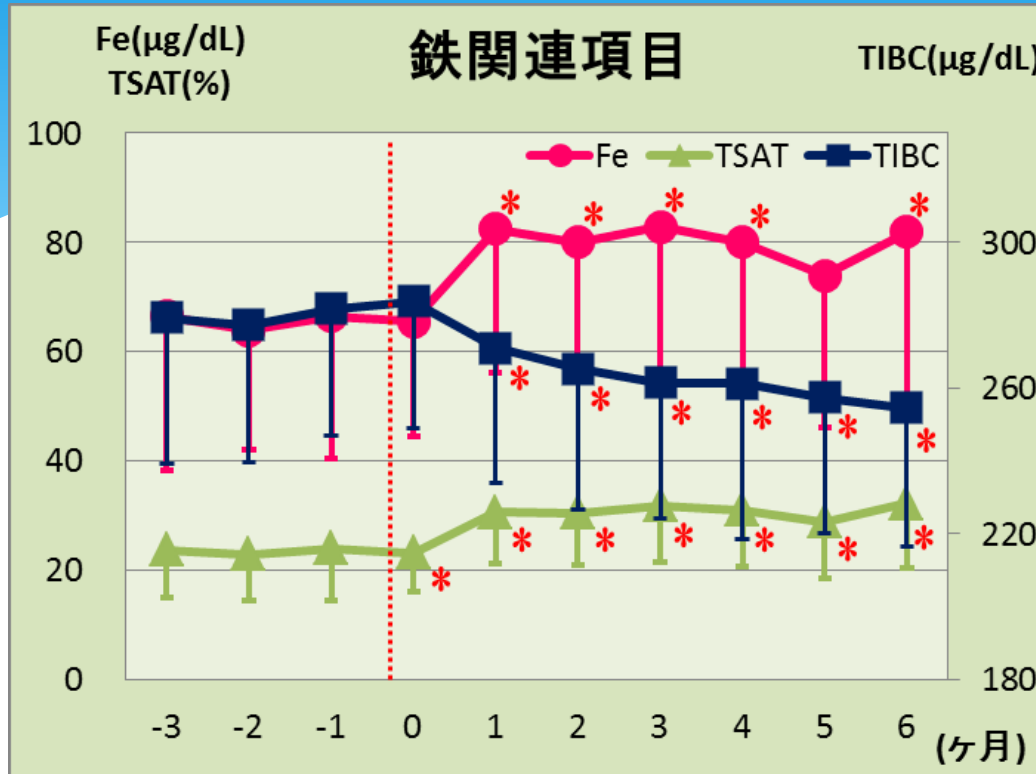
* : 有意差あり



(ヶ月)	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6
P 平均値(mg/dL)	5.6	5.7	5.5	5.9	5.4	5.4	5.5	5.2	5.1	5.3
SD	1.4	1.6	1.2	1.3	1.2	1.3	1.4	1.1	1.0	1.2

リオナ[®]によるリン吸着効果があったと考えられた

《結果・考察》

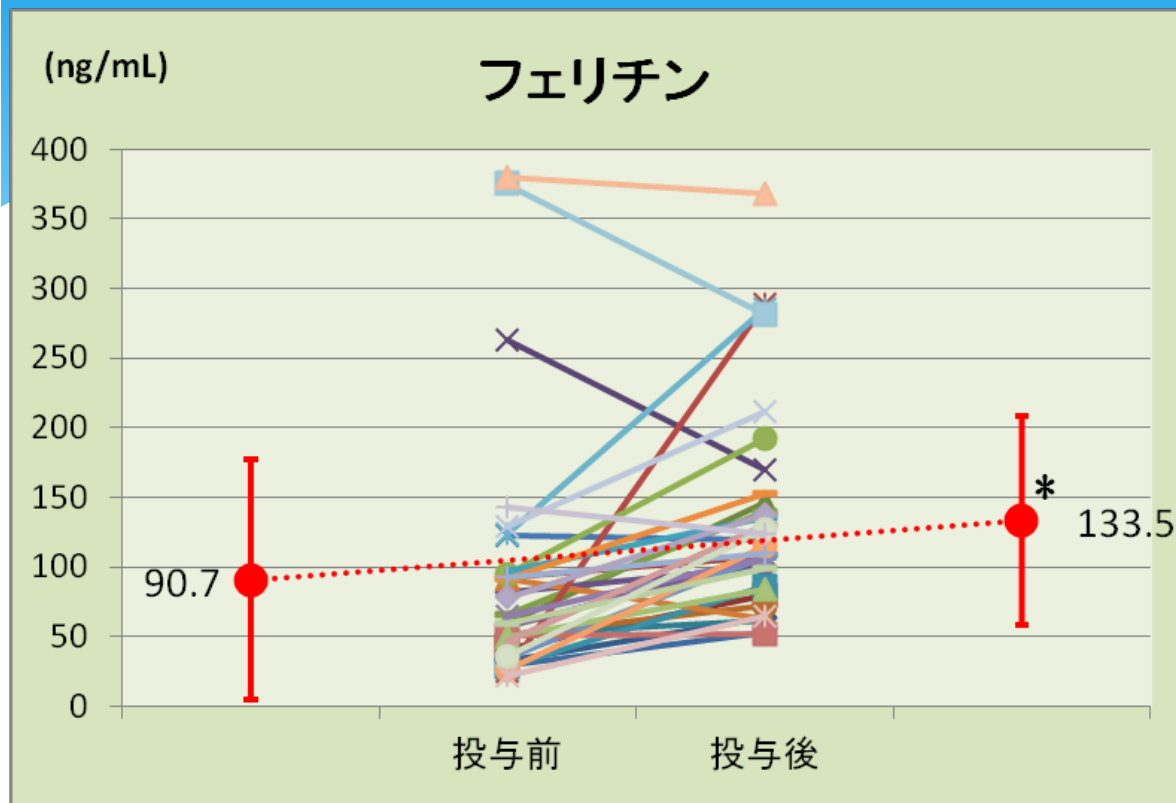


* : 有意差あり

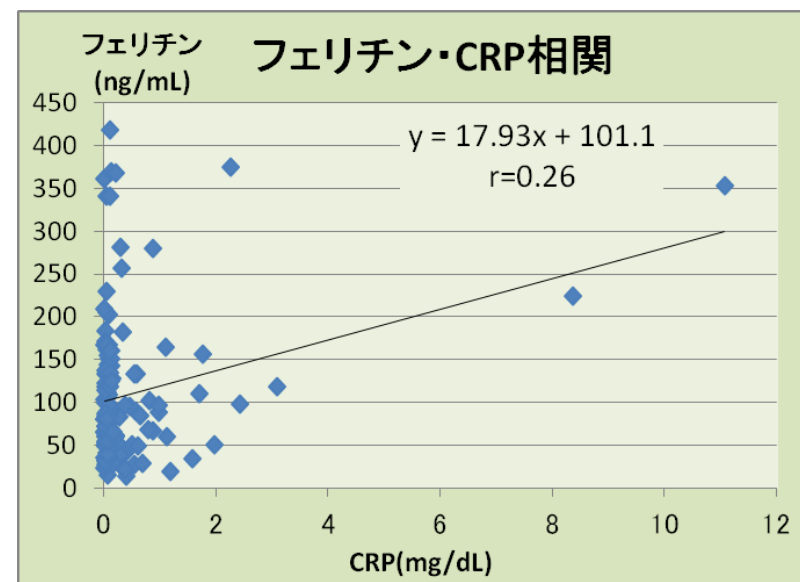
(ヶ月)	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6
Fe 平均値(μg/dL)	66.4	63.8	66.4	65.5	82.4	80.1	82.9	80.0	73.9	81.9
SD	28.3	21.7	25.9	21.0	26.3	25.5	29.2	27.4	27.8	33.8
TSAT 平均値(%)	23.7	22.8	24.0	23.1	30.6	30.4	31.8	31.0	28.8	32.2
SD	8.9	8.3	9.5	7.0	9.3	9.5	10.2	10.4	10.3	11.9

リオナ[®]の成分であるクエン酸第二鉄が鉄代謝に継続的に有効利用されているものと考えられた

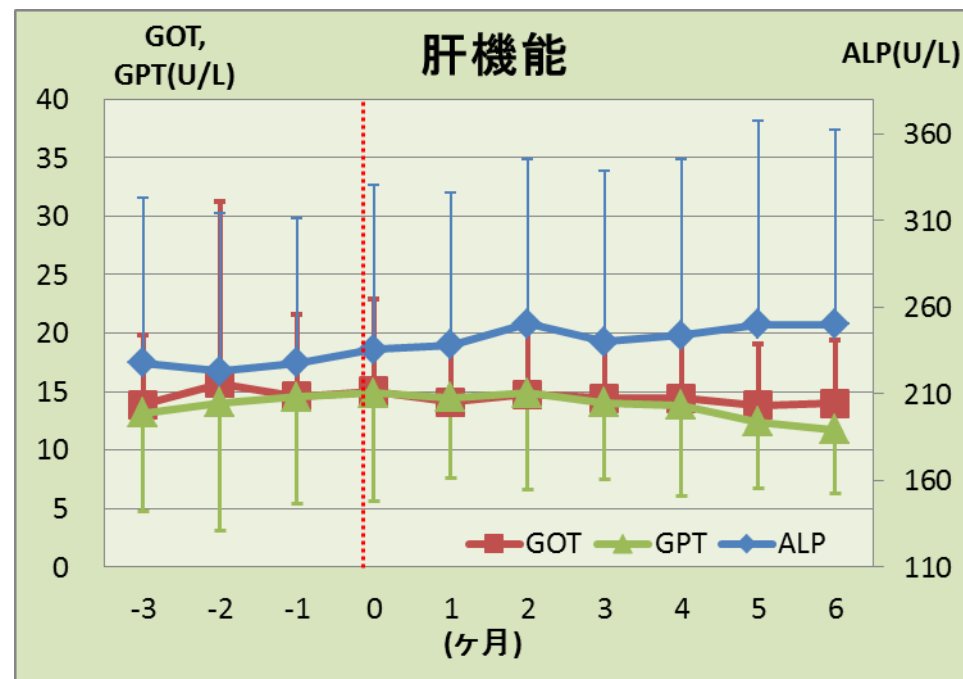
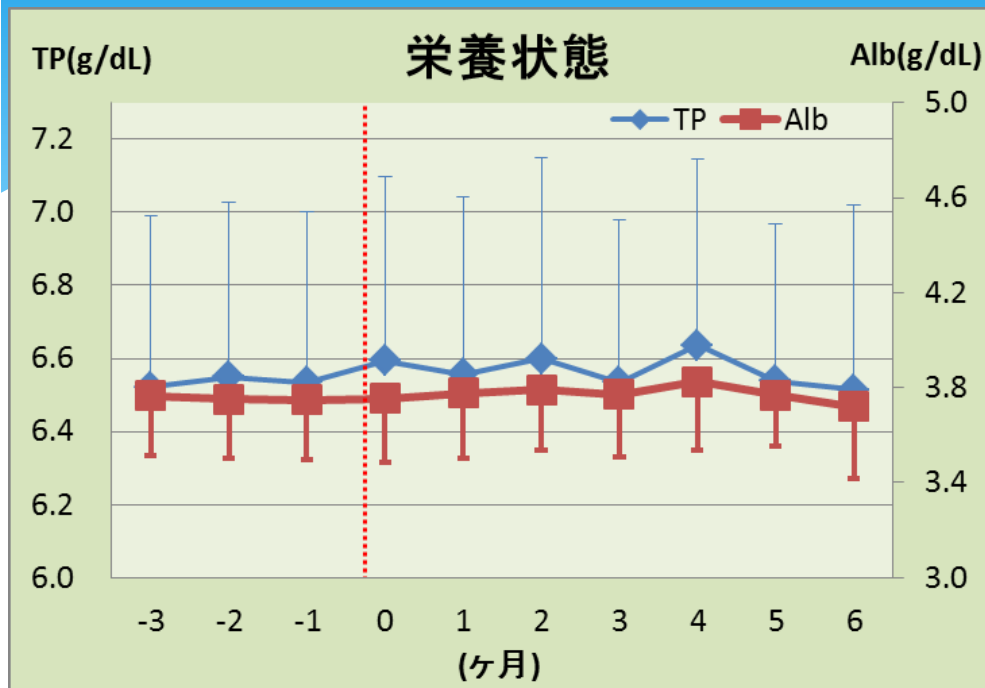
《結果・考察》



* : 有意差あり

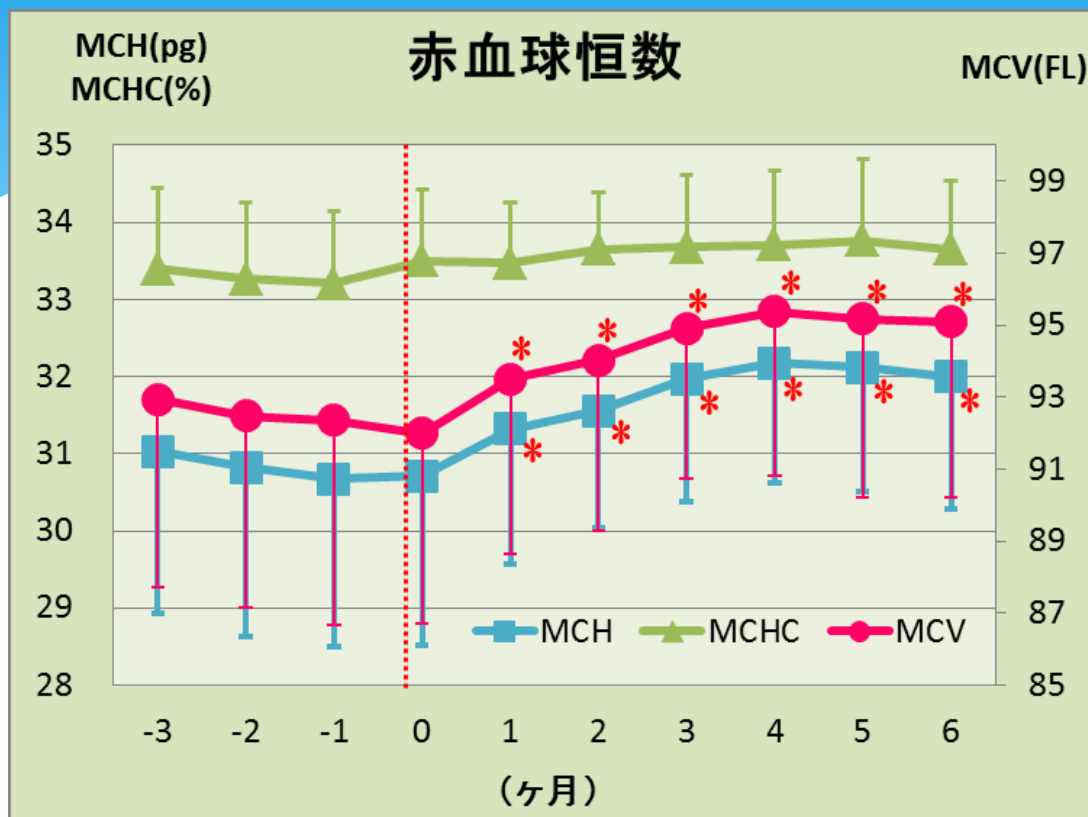


《結果・考察》

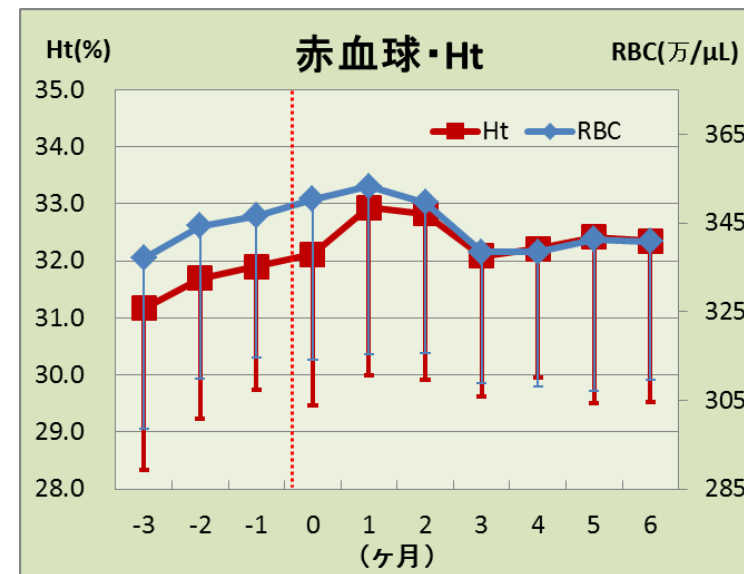
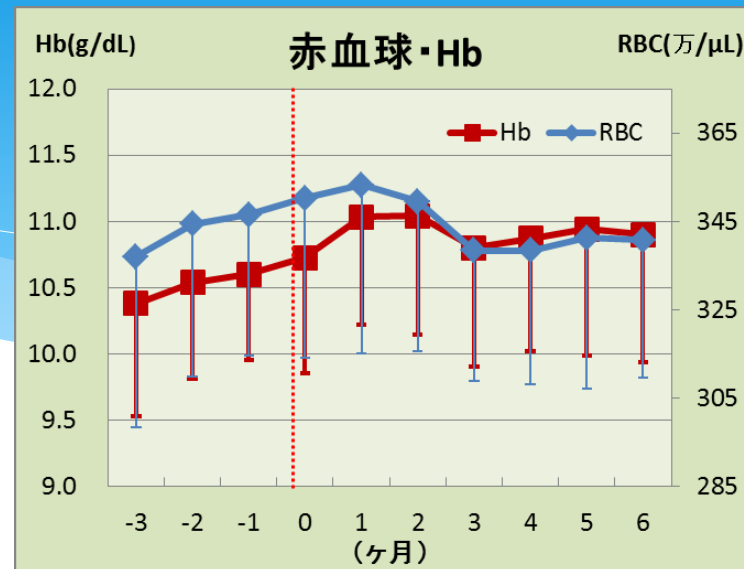


《結果・考察》

* : 有意差あり

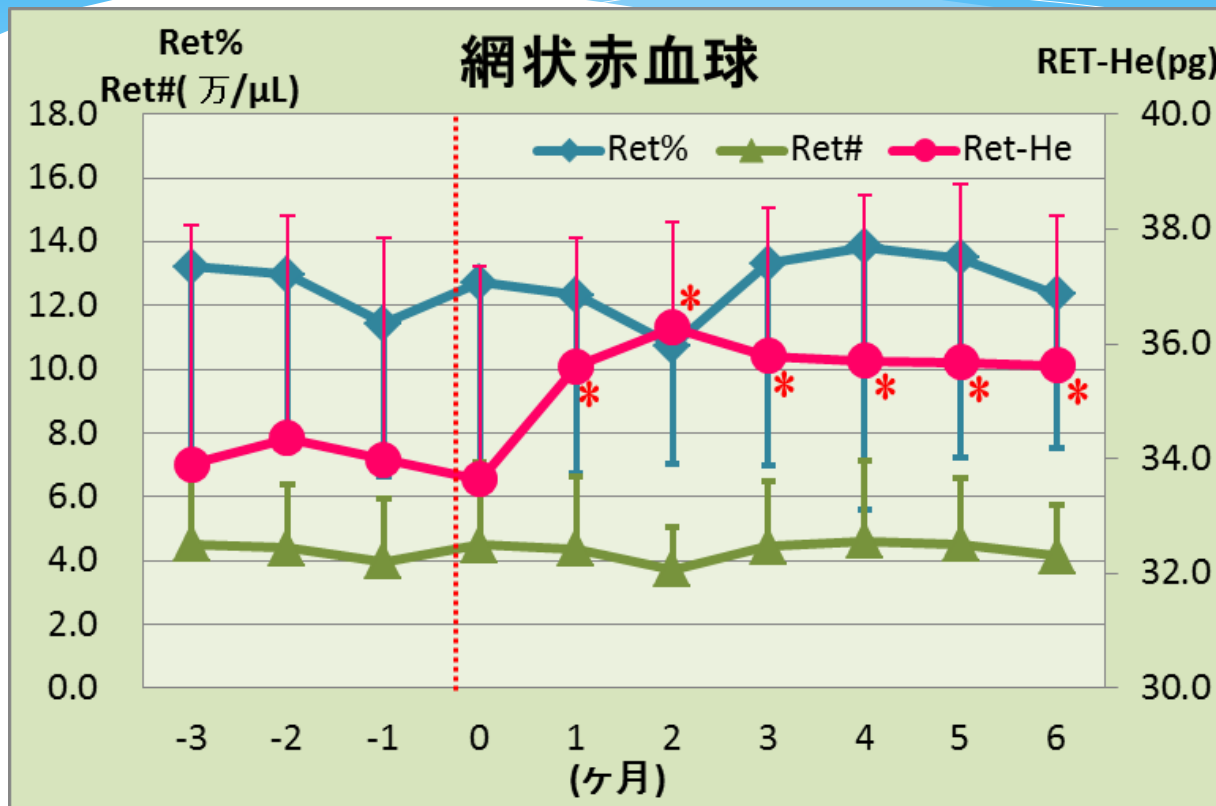


(ヶ月)	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6
MCV 平均値(μg/dL)	92.9	92.5	92.4	92.0	93.5	94.0	94.9	95.4	95.2	95.1
SD	5.2	5.3	5.7	5.3	4.9	4.7	4.2	4.6	5.0	4.9
MCH 平均値(%)	31.0	30.8	30.7	30.7	31.3	31.6	32.0	32.2	32.1	32.0
SD	2.1	2.2	2.2	2.2	1.8	1.5	1.6	1.5	1.6	1.7

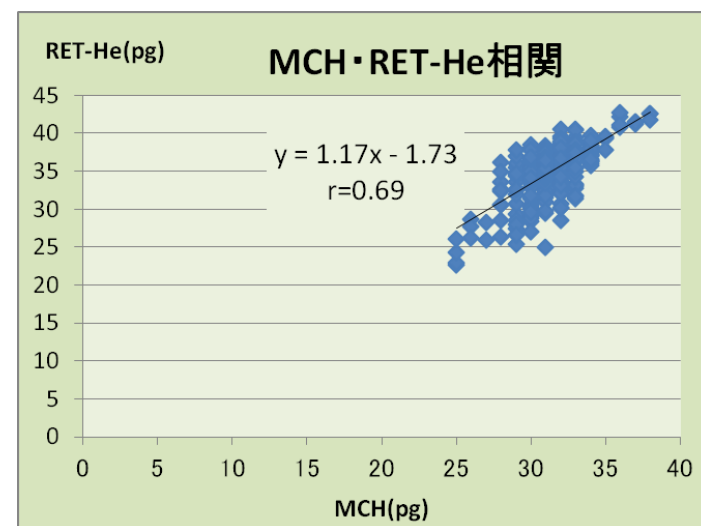
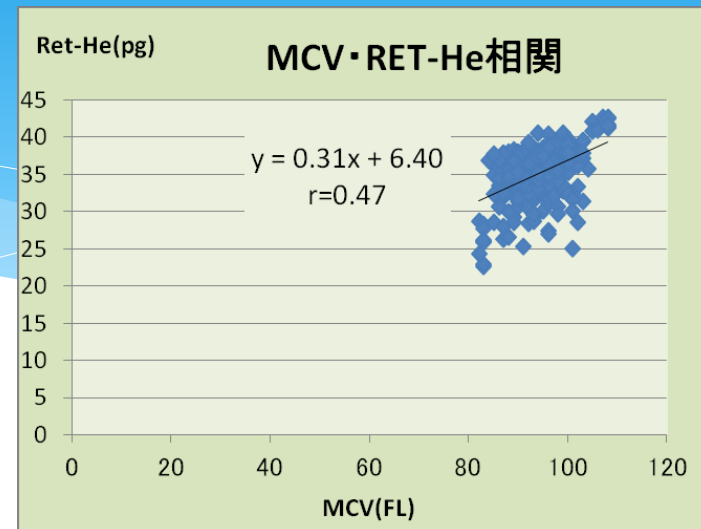


赤血球の質の指標であるMCV・MCHの改善が認められたことより鉄が赤血球造血に対しても有効的に利用されていると考えられる

《結果・考察》

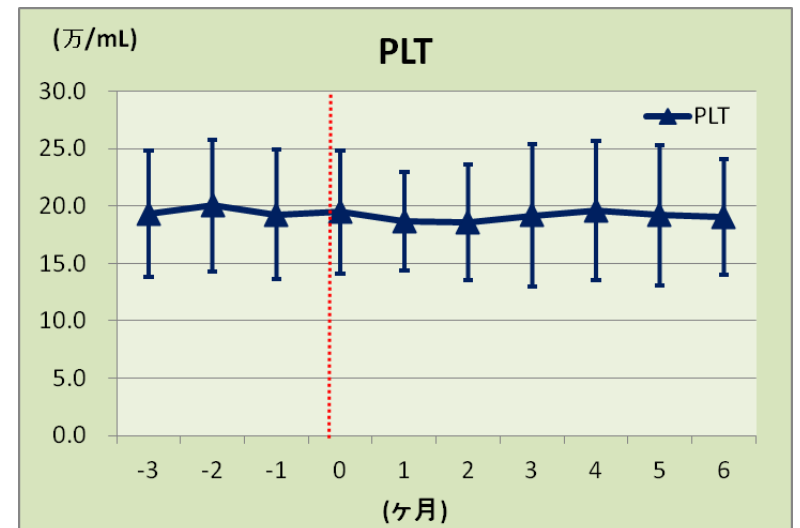
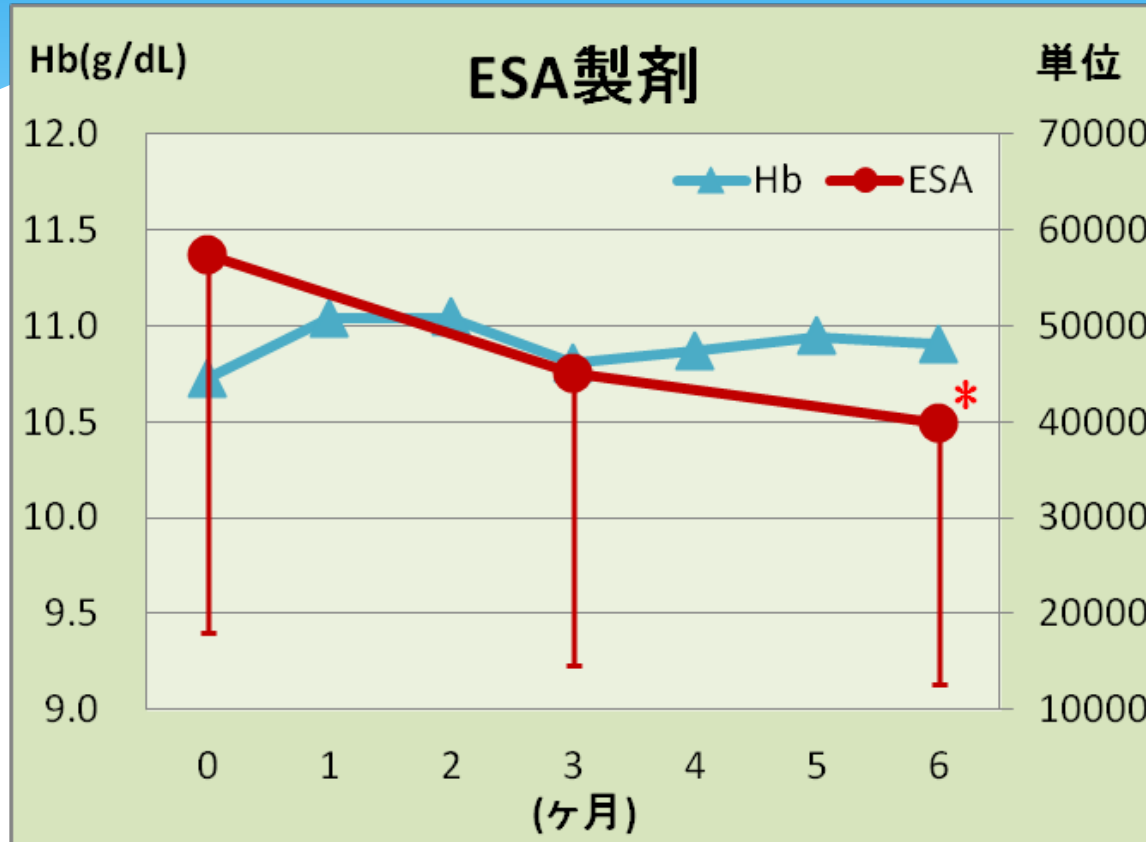


* : 有意差あり



《結果・考察》

* : 有意差あり



	使用前	3か月目	6か月目
3ヶ月の合計使用量	57419.1	45088.2	39816.2
1週間の使用量	4784.9	3757.4	3318.0

《結論》

リオナ[®]の投与により、血清鉄・フェリチンが大きく上昇することなく、TSATの上昇を維持し、赤血球の質(MCV, MCH)を改善させた